

うまし旅
花を愛で、食を愛で、
器を愛でる旅



青空に映える白梅(イメージ)



借楽園の梅(イメージ)

「水戸の梅まつり」を中心に、茨城と栃木の魅力を紹介します。早春に咲き誇る梅の花は、厳しい寒さを乗り越える力強さと、見る人の心を温める可憐さを併せ持っています。借楽園と弘道館で梅の香りに包まれ、一足早い春の訪れを感じていただきます。

水戸の「うまし」として伝統のあんこう鍋や、地元の食材を生かしたフレンチを。そして笠間と益子という二つの焼き物の里で、その土地の器で料理を味わいます。見て、香って、味わう、五感でお楽しみいただく旅といたしました。

春の訪れを告げる花の祭典
「水戸の梅まつり」

「水戸の梅まつり」は、120年以上の歴史を誇る伝統の祭りです。早春の訪れを告げる梅の花を存分に楽しめるイベントです。日本三名園の一つである借楽園と、日本最大級の藩校だった弘道館を会場に開催されます。

水戸に梅の木が多いのは、江戸時代に水戸藩主徳川斉昭が、観賞用だけでなく非常食としての梅の実の活用を考えて植樹を奨励したためです。借楽園には約100品種3000本の梅が植えられており、早咲き、中咲き、遅咲きと開花時期が異なるため、長い期間にわたって観梅を楽しむ



約100品種3000本の梅が植えられている借楽園(イメージ)

ます。白梅、紅梅、一本の木に複数の色の花が咲く「咲き分けの梅」など、個性豊かな姿が魅力です。

弘道館にも約60品種800本の梅が植えられており、借楽園とともに梅の名所となっています。弘道館は国の特別史跡に指定されており、歴史的な建物に梅の花が風情を添えてくれます。

ひと口に観梅といっても、梅の花を一輪一輪探しながら楽しむ「探梅」、満開の梅を愛でる「賞梅」、そして散りゆく梅を惜しむ「送梅」といった時期ごとの愛で方もあります。風流なひとときをお楽しみください。

うまし① 水戸の老舗で味わう「醤油仕立て」あんこう鍋

水戸市の老舗料亭「山口楼」は、明治5年(1872年)創業の、水戸で最初に「あんこう鍋」を作り上げた店として知られています。その始まりは、3代目喜八郎が、余計な甘みが出る白菜などの野菜を使わずに、あんこう本来の旨みを追求した「醤油仕立てあんこう鍋」でした。

あんこうは、肝・皮・ひれなど様々な部位が食べられることから「あんこうの七つ道具」と呼ばれています。この会席では、鍋料理だけでなく、あんこうの魅力を存分に引き出した料理もお楽しみいただけます。

なかでも、山口楼の名物である「あんこうの友酢」は、お酒の肴になるようにと名付けられました。もとは、あん肝をすりつぶして酢味噌で溶いた茨城の郷土料理「あ

んこうの共酢」がもとになっています。あんこうの七つ道具を秘伝の肝味噌につけて食べる、珍しい一品です。歴史ある老舗料亭で、冬の旬の味覚を心ゆくまでお楽しみください。



醤油仕立てあんこう鍋(イメージ)



山口楼名物、あんこう友酢(イメージ)

うまし②
茨城至宝のレストラン
「Ohtsu」

1991年創業の「レストラン Ohtsu」は、創造性あふれるモダンフレンチを得意とする、水戸を代表する名店として知られます。茨城県が実施する「茨城フードセレクション審査会」により、「茨城至宝のレストラン」に2022年、2021年と2年連続で



「レストラン Ohtsu」料理の例(イメージ)

選定されました。この料理を食べるために茨城へ足を運ぶ価値がある、特別な一軒です。近年は郷土の食材にこだわり、地元農家や漁師から仕入れた旬の恵みを最大限に引き出しています。メインディッシュはもちろん、一つひとつ丁寧に調理された野菜にもぜひご注目ください。

器が彩る笠間と益子

今回は、茨城県の笠間と栃木県の益子という、二つの有名な焼き物の産地を巡ります。それぞれの地で、美術館見学と併せてその土地ならではの器で食事を楽しみ、陶芸の魅力を感じていただきます。

1日目には、茨城県陶芸美術館を訪れた後、笠間焼のお皿に盛り付けられた屋食をご用意します。笠間焼は、伝統にとらわれない自由な作風が特徴で、陶芸家それぞれの個性を表現した多種多様な器がご覧いただけます。3日目には、栃木県の益子陶芸美術館を訪れ、昼食では益子焼のお皿で料理をお楽しみいただきます。益子焼は、陶土にほかの物質を加えないため厚みがあり、重厚感のある仕上がりが特徴です。石材粉や古鉄粉を使った釉薬による、温かみのあるぼつりとした風合いも魅力です。器と料理が織りなす、この土地ならではの食体験をどうぞご堪能ください。



左:笠間焼の器と調和したお食事をお召し上がりください(イメージ)
右:土下自由な作風の笠間焼(イメージ)



早春の花も楽しむ うまし旅ニッポン

水戸の梅まつりと
笠間・益子の旅

3日間

集合・日数・出発日	旅行代金
【東京駅集合・3日間】 2月24日(火)、3月10日(火)	¥199,000

(1名室利用追加代金:なし)

現地合流プラン:友部駅合流(出発)/小山駅離団(帰着) 旅行代金より ¥6,000引き

1	東京駅09:24発(JR特急) 友部駅10:37着 笠間(昼食は、笠間焼の器を使ったランチ。その後、陶芸を専門に扱う●茨城県陶芸美術館を見学します。午後、○笠間稲荷神社、●笠間日動美術館を見学) 水戸(夕食は、うまし①老舗料亭・山口楼にて「醤油仕立てあんこう鍋」を)
2	水戸09:00発 水戸の梅まつり(注) (●借楽園、●弘道館を見学) 徳川ミュージアム 水戸16:00着(夕食は、うまし②茨城県が実施する「茨城至宝のレストラン Ohtsu」にてフレンチを) (水戸泊) 朝昼夕
3	水戸09:00発 益子(●益子陶芸美術館を見学。昼食は窯元を訪れ、益子焼の器を使ったランチ) 結城(●結城市伝統工芸館を見学) 小山駅17:33発(JR特急) 東京駅18:16着 朝昼夕

(注) 例年の花の見頃に合わせて設定しておりますが、花の見頃は気候により前後します。予めご了承ください。

■最少催行人員:12名様 ■食事:朝食2回、昼食3回、夕食2回
■添乗員:東京駅ご出発時から東京駅に到着時まで同行します。
■ホテル:水戸・水戸プラザホテル(洋室)
■利用予定バス会社:関東観光バスまたは同等クラス
■利用予定運送機関:JR特急普通車指定席

■各コース共通の旅行条件とご注意

■宿泊施設は特に明記してあるものを除きバスタブ・トイレ付きのお部屋です(大浴場などの施設がある場合、シャワーのみ、あるいはバスタブ・シャワーなしのお部屋となる場合があります)。
■お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金にて承ります。その場合は洋室シングルルームまたは和室となります。
■旅行開始日の前日から起算して、さかのぼって14日目にあたる日以降の現地合流、離団はお受けすることが出来ませんので、なるべく早めにお申し出ください。
■キャンセル料半額制度は国内旅行の場合適用外となります。ご注意ください。
■マークの説明 ✈=航空機 🚆=列車 🚌=バス 🚗=自動車 朝=朝食 昼=昼食 夕=夕食 □=食事なし ●=入場観光 ○=下車観光

ご旅行条件(抜粋)

●この書面は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。
別途交付する旅行条件書(全文)をお受け取りの上、必ずご確認ください。

1. 旅行のお申込み・予約・旅行契約の成立

- (1) お申込みは、当社にて当社所定の旅行申込書に所定の事項をご記入のうえ、申込金(40,000円又はパンフレットに明示した場合はその額)を添えてお申込みいただきます。
- (2) 当社は、電話、ファクシミリ、インターネット、Eメールその他の通信手段による旅行契約の予約を承ります。この場合、旅行契約は、予約の時点では成立しておらず、当社が旅行契約の締結を承諾した旨を通知した日の翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金のお支払いをしていただきます。この期間内に申込金のお支払いがなされない場合、当社は、予約はなかったものとして取り扱います。
- (3) 旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。なお、お支払い対象旅行代金や、申込金をクレジットカードを利用、自動引き落とし方法でのお支払い方法を選択されたお客様との旅行契約は、当社が契約の締結を承諾する旨のメールがお客様に到達した時に成立します。旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

2. 旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日以降にお申込みの場合、

旅行開始日前の当社が指定する期日までにお支払いいただきます。

3. お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

4. 旅行代金に含まれるもの

- (1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。
 - ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
 - ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
 - ③ ホテル等の宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
 - ④ 食事の料金(機内食は除く。) 及び税・サービス料金
 - ⑤ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの
- (2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

5. 旅行代金に含まれないもの

- 第4項の他は、旅行代金に含まれません。その一部を以下に例示いたします。
- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
 - (2) クリーニング代、電話料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心

付けその他の追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金

- (3) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
- (4) ご希望者のみ参加されるオプションツアー(別途の小旅行)の料金

6. 取消料について

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことによりいつでも旅行契約を解除することができます。

旅行契約の解除期日	取消料(お一人様)
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目(日帰り旅行にあっては10日目)に当たる日以降8日目に当たる日までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目に当たる日以降2日目に当たる日までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の30%
旅行開始日の前日に解除するとき	お支払い対象旅行代金の40%
当日(旅行開始前)に解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%
貸切船舶を利用するとき	当該船舶に係る取消料規定による

ご旅行条件は、2025年11月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施



WEBも
どうぞ



ワールド航空

https://www.wastours.jp

検索

営業時間/月曜日～金曜日 午前9:30～午後5:30(土・日・祝は休業)



ボンド保証会員
一般社団法人日本旅行業協会正会員



旅行業公正取引
協議会 会員



□ 東京支店 TEL : 03-3501-4111

東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

□ 大阪支店 TEL : 06-6343-0111

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 柴尾 祐樹

□ 名古屋支店 TEL : 052-252-2110

名古屋市中区栄3-14-7 RICCO栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

□ 九州支店 TEL : 092-473-0111

福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多借成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子

□ 札幌支店 TEL : 011-232-9111

札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

□ 湘南支店 TEL : 0466-27-0111

神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号